

施工前に必ずお読みください

天然無垢フローリングは、空気中の水分を吸収・発散する働きがあるため、膨張・収縮する場合がございます。施工状況によって不都合が生じることがございますので、あらかじめご了承ください。

保管、施工にあたっては、下記の注意事項をよくお読みの上ご使用ください。
誤った保管・施工による商品の補修・交換等はお受けできません。また、施工後の返品・クレームにも応じかねますのでご了承ください。

無垢フローリングの施工上の注意

《施工前》

- ① フローリング及びその関連部材は、直射日光、湿気、水気を避けて、水平に置いて保管してください。
- ② 施工の数日前には開梱し、周囲の環境に十分なじませてから施工してください。
ただし開梱後、長期間放置されますと、湿気を含み、そりや狂いの原因となります。
- ③ 天然無垢材は一枚毎に色合いが異なります。事前に仮並べを行い、バランスをご確認ください。
- ④ 仮並べの結果、反り・隙間・割れ・色ムラなどがあった場合、施工せず、切り回し又はその部分を取り除いてください。
- ⑤ その他お気づきの点があれば、そのまま施工せずに販売元にご相談ください。
- ⑥ 内装用のため、外装には使用できません。
- ⑦ 湿気の多い地域・土地（山際・山を造成した土地・埋立地、池・河川の近く）などのご使用は極力さけてください。使用する際は、床下はしっかり防水・防湿処理を行ってください。
- ⑧ 床下には換気口を取り付け、換気を行ってください。
- ⑨ 貼り込みは外気・風が直接吹き込まないように、窓ガラス・囲いが出来てから行ってください。

《施工上の注意》

- ① 十分に乾燥した大引き・束は土間等のベースにしっかりと固定し、12mm以上の耐水合板で捨貼り施工して下さい。
- ② 壁面には密着せずに5mm程度（巾木で隠れる程度）の隙間を設けてください。
- ③ 貼り込みの際、板の並びはきつく締め付けず、ダンボールに入っているスペーサーまたはPPバンドを使い、0.5～1mm隙間を設けて施工して下さい。（季節や施工場所によって変更してください）
実を強く叩き込みすぎると、無垢材の性質上フローリングが反り、突き上げ、割れなどの原因となります。
- ④ 接着剤とフローリング専用釘の併用で行ってください。
釘は「フロー用ステープル」又は「フロー用スクリュー釘 38mm以上」を使用して下さい。
また接着剤は必ず「ウレタン系」又は「変成シリコン系」弾性接着剤を使用して下さい。
酢ビ系（水性系）の木工ボンドは、床鳴りの原因となるので、使用しないでください。
フローリング材の実やその近接部には接着剤を使用しないでください。

《施工後》

- ① 表面保護のため、養生シートを全面に敷いて、砂などが入らないように養生テープで止めて下さい。養生シートを敷いた後で作業を継続して行う場合は、床材表面を傷つけないようにフロー養生板でさらにカバーされる事をお薦めします。
- ② 床材に養生テープを直接貼らないようにしてください。テープを剥す時塗膜剥離を起こす可能性があります。
- ③ 養生テープは必ず床養生専用の弱粘着タイプのものをご使用ください。
- ④ 養生テープを取り除く際、テープを強く引っ張って剥すと塗膜剥離が起こす恐れがありますので、ゆっくりと剥してください。
- ⑤ ストーブ、電気カーペット等を使用される場合は、寸法などに狂いが生じる恐れがあります。
- ⑥ 施工後に発生した虫害については保証致しかねます。(人に優しい商品作りをしており、木材を好むヒラタキクイ虫などが発生する可能性があります。但し、人に害を与える虫ではありません)。
- ⑦ 剥離剤、溶剤の使用はお止めください。
- ⑧ 自然塗装商品には市販の自然塗装用のワックスを使用してください。